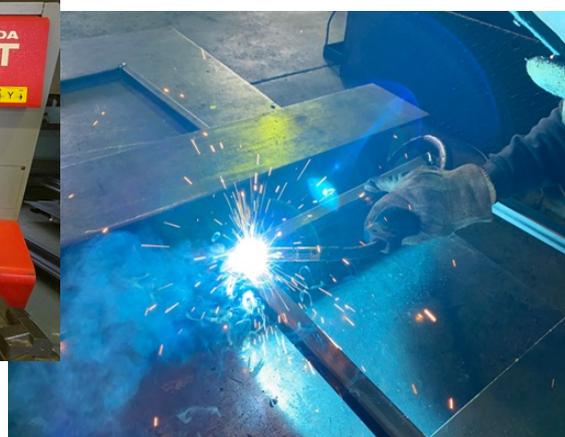


太平洋工業株式会社

2022年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022年9月～2023年8月)



作成日: 2023年9月5日

□はじめに

当社は事業活動に伴い、地域環境に考慮した環境負荷を低減するために、エコアクション21の活動を開始し、本レポートは2022年度の実績と取り組みをまとめたものです。

太平洋工業株式会社
代表取締役社長 藤井 武彦

環境方針

<環境理念>

作業の無駄を省き、廃棄物を削減し環境に配慮した製品作りを心がけ、継続的改善と環境保全に努めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減
3. 廃棄物の削減及び再資源化の推進
4. 水使用量の削減
5. 化学物質使用量の適正管理
6. 環境に配慮した資材の購入調達
7. 環境に配慮した製造への取組
8. 教育訓練の実施
9. 5Sの推進
10. 環境方針を従業員一同に周知します。

制定日： 2011年8月1日
改訂日： 2022年6月15日

代表取締役社長 藤井 武彦

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

太平洋工業株式会社

代表取締役社長 藤井 武彦

(2) 所在地

本 社 大阪府摂津市烏飼本町3丁目7-32

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 藤井 康成 TEL : 072-653-0750

担当者 藤井 公子

(4) 事業内容

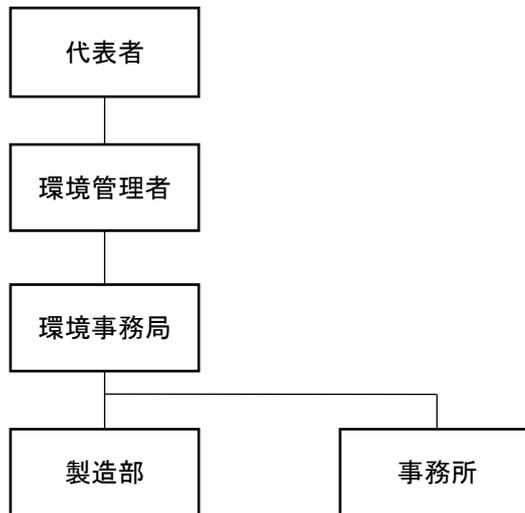
金属製品の製造、製缶 主要製品:油圧タンク、架台、自動機周辺設備

(5) 事業の規模 本 社

| | |
|---------|--------------------|
| 製品出荷額 | 6026万円 |
| 主要製品生産量 | 43トン |
| 従業員 | 10名 |
| 延べ床面積 | 445 m ² |

(6) 事業年度 9月～8月

(7) 実施体制図



□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 太平洋工業株式会社

対象組織: 会社全体(本社)

活動: 金属製品の製造、製缶 主要製品:油圧タンク、架台、自動機周辺設備

□主な環境負荷の実績

| 項目 | | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|-----------|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO2 | 77,926 | 62,700 | 57,934 | 56,741 | 44,450 |
| 廃棄物排出量 | | | | | | |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 128 | 123 | 144 | 159 | 145 |
| 産業廃棄物排出量 | ton | 20.3 | 17.5 | 8.7 | 12 | 8.1 |
| 水使用量 | m ³ | 200 | 206 | 217 | 302 | 161 |

※ 産業廃棄物の重量は業者に販売している重量です。(鉄・ステンレスなど)

※ 二酸化炭素総排出量は軽油とLNGの使用による排出量を含む。

□環境経営目標及び実績

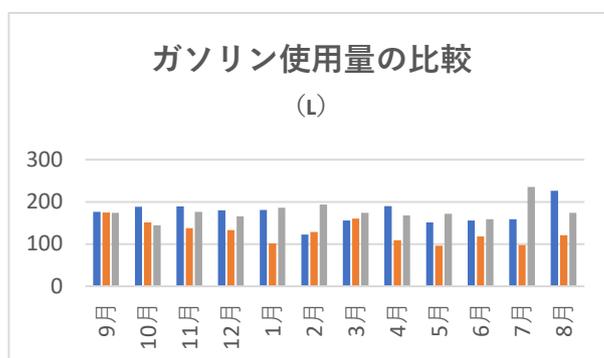
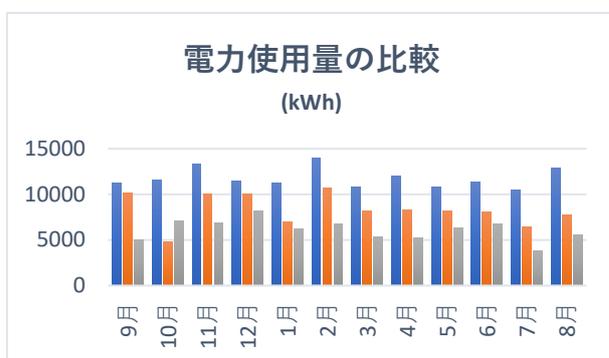
| 項目 | | 年度 | 基準年 | 2022年 | | 2023年 | 2024年 | |
|----------------------------|----------------|--|---------|--------|--------|--------|--------|--|
| | | | 基準年度 | 目標 | 実績 | 目標 | 目標 | |
| 電力の二酸化炭素排出量削減 | kg-CO2 | | 59,028 | 56,077 | 30,598 | 56,077 | 55,486 | |
| | 基準年比 | | (2017年) | 95% | 52% | 95% | 94% | |
| ガソリンの二酸化炭素排出量削減 | kg-CO2 | | 4,817 | 4,576 | 4,921 | 4,528 | 4,480 | |
| | 基準年比 | | (2019年) | 95% | 102% | 94% | 93% | |
| 灯油の二酸化炭素排出量削減 | kg-CO2 | | 1,175 | 1,163 | 588 | 1,152 | 1,140 | |
| | 基準年比 | | (2019年) | 99% | 50% | 98% | 97% | |
| 液化石油ガス(LPG)の二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO2 | | 3,055 | 2,841 | 1,989 | 2,811 | 2,780 | |
| | 基準年比 | | (2017年) | 93% | 65% | 92% | 91% | |
| 上記二酸化炭素排出量合計 | kg-CO2 | | 68,075 | 64,657 | 38,096 | 64,567 | 63,886 | |
| 一般廃棄物の削減 | kg | | 144 | 143 | 145 | 141 | 140 | |
| | 基準年比 | | (2020年) | 99% | 101% | 98% | 97% | |
| 節水 | m ³ | | 206 | 196 | 161 | 194 | 192 | |
| | 基準年比 | | (2019年) | 95% | 78% | 94% | 93% | |
| 環境配慮資材購入 | | 新規購入品がある場合は環境に配慮した製品を購入するようにする | | | | | | |
| 化学物質の適正管理 | | 適切な保管・使用状況の確認をする。 | | | | | | |
| 製品への環境配慮 (環境に配慮した製品の製造) | | エネルギーの効率的な利用と無駄に産業廃棄物を出さない取組を続けていく | | | | | | |
| 産業廃棄物を出さないようにする。 | | 無駄を省き材料の端材を出さないようにする。可能なものは寸法切りした材料を購入し無駄を無くす。 | | | | | | |

※1 電力のCO2排出係数は関西電力の基準年2017年度の係数0.418kg-CO2/kWhを使用しています。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

(2021年度の目標と実績及び取組結果とその評価を下記に示す。)

| | 項目 | 取組み | 達成率 | 達成 | 取組結果と次年度の取組み内容等 |
|------------------------|--|--|------|----|--------------------------------|
| CO ₂ 排出量の削減 | 電力の削減 目標 56077kg-CO ₂ 実績 30598kg-CO ₂ | 1.昼食時及び不使用時消灯 2.パソコン電源OFF 3.エアコンの設定温度を守る | 183% | ○ | ・目標達成 ・今後も目標達成にむけて努力していきます。 |
| | ガソリンの削減 目標 4576kg-CO ₂ 実績 4921kg-CO ₂ | 1.急発進・急加速禁止 2.空ぶかしの禁止 3.積載オーバーをしない | 93% | × | ・目標未達成 ・目標を達成できるように努力します。 |
| | 灯油の削減 目標 1163kg-CO ₂ 実績 588kg-CO ₂ | 必要の無い時は器具を止める | 198% | ○ | ・目標達成 ・今後も目標達成にむけて努力していきます。 |
| | 液化石油ガス(LPG)の削減 目標 2841kg-CO ₂ 実績 1989kg-CO ₂ | 必要の無いときは元栓を閉める | 143% | ○ | ・目標達成 ・今後も目標達成にむけて努力していきます。 |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 (kg) 目標 143 実績 145 | 1.分別収集をして廃棄する 2.コピー用紙の再利用 | 98% | × | ・目標未達成 ・目標を達成できるように努力します。 |
| 水使用量 | 水使用量の削減 (m ³) 目標 196 実績 161 | 1.水道水を出しすぎない 2.止水を行う 3.節水表示を行う | 122% | ○ | ・目標達成 ・今後も目標達成にむけて努力していきます。 |
| 環境配慮資材の購入 | 環境配慮資材の購入 (件) 実績 0 | エコ商品の購入 (社内) | - | - | 活動の継続 |
| 化学物質の適正管理 | 化学物質の適正管理 | 適切な保管・使用状況の確認をする。 | - | - | 活動の継続 |
| 製品への環境配慮 | 環境配慮製品の製造 | エネルギーの効率的な利用と無駄に産業廃棄物を出さない | - | - | 活動の継続 |
| 産業廃棄物を出さないようにする | 産業廃棄物を出さないようにする | 無駄を省き材料の端材を出さないようにする。 | - | - | 活動の継続 |



■ 基準年 ■ 前年度 ■ 今年度

□法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 適用される事項(施設・物質・事業活動等) |
|-------------|----------------------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ) |
| 騒音規制法・振動規制法 | 空圧機、送風機 |
| 消防法 | 危険物の保管 |
| 高圧ガス保安法 | 高圧ガスの保管 |
| 自動車 Nox・PM法 | 排ガス規制 |
| フロン排出抑制法 | フロンを使用した機器の使用・フロンの廃棄 |
| 労働安全衛生法 | 社員の安全と健康の確保 |

違反・訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されています。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間無く、訴訟もありませんでした。

□教育・訓練の実施

エコアクションについての教育、火災・油流出を想定した緊急時対応訓練、ブレーキ(ベンダー)の操作・取扱いについての勉強会等を実施しました。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境への負荷の低減・管理への評価

作業量の減少により電力の使用量が減っている。
納品や営業に自動車を多用していたためガソリンの使用量が増えています。

一般廃棄物の廃棄量は目標値で前後で推移していますが
無駄にゴミを出さないよう注視していきたい。

2. 環境マネジメントシステム導入の評価

社員ひとりひとりが環境活動を意識し作業に取り組んでいます。

本年も新型コロナの影響で休業している期間があり活動もまちまちでしたが、整理整頓などに時間があてられたと思います。

【方針】 変更の必要性: 有 無

次年度に変更の必要性があれば変更したいと思います。

【目標・計画】 変更の必要性: 有 無

一般廃棄物の量が増えています。分別等注視し必要であれば基準値・目標値の再設定を行う。

【その他(実施体制も含む)】 変更の必要性: 有 無

□環境活動の紹介

大阪グリーン購入ネットワークに発起企業のひとつとして参加し

グリーン購入を積極的に取り入れております。